



原子力防災訓練を実施

静岡県主催による原子力防災訓練が2月13日、御前崎市を含む周辺11市町で実施されました。

原子力発電所からおおむね5kmの範囲内の、住民173人が45km離れた県立草薙総合運動場へバスで避難し、体の放射能汚染を調べる「スクリーニング」を受けました。参加者は基準値以上の値が出た場合の除染から再スクリーニングなどの一連の流れの説明を受けました。



夢咲牛の魅力を発信 慢の新メニュー完成

遠州夢咲牛を使った新ご当地メニュー開発により「遠州御前崎 夢咲牛ハヤシライス」が完成し、2月20日、完成発表会が行われました。

参加店舗の代表者らは「これを機会に夢咲牛の魅力を市内外へ発信していきたい」と意気込みを語ってくれました。

この「夢咲牛ハヤシライス」は市内飲食店やホテルなど8店舗で提供されます。

家庭医の必要性を学ぶ

第14回御前崎市市民公開講座が2月22日に市立御前崎総合病院で行われました。特別講演では、「安心と信頼の地域医療システムを構築するには」と題して菊川市家庭医療センターの津田司先生の講演が行われました。

講演では健やかに人生を楽しみながら老いるために家族のかかりつけ医(家庭医)の重要性について話があり、受講者は熱心に耳を傾けていました。



環境保全・美化活動に尽力 県と同意書を交わす

県では、港湾における環境保全・美化活動に協働で取り組む「しずおかポートサポーター」制度を作り、2月17日、御前崎エコパークで活動を行う団体「御前崎エコクラブ」と県御前崎港管理事務所と御前崎市の三者で同意書を交わしました。

同クラブの山本貴美枝代表は「行政や地域住民の知恵を借りて、よりよい公園環境にしていきたい」と話しました。